

登録コード	L2963100	開講年度	2026				
担当教員	鎌田 隆行			副担当			
授業科目	フランス語コミュニケーション上級						
英文授業名	Advanced course of French Oral Communication						
授業タイトル							
単位数	1	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限
講義室	人文201演習室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2022Lカリ						
	【2022年度以降加付対象】他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー				日常生活で用いるフランス語を、読み・書き・聞き・話すことができるようになる。収集した情報に優先順位をつけ、話を整理しながら、自分の言いたいことをフランス語で表現できるようになる。フランス語圏の文化について理解を深めることを通じ、文化の違いや特色などを考慮に入れて会話ができるようになる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】				日常生活で用いるフランス語を、読み・書き・聞き・話すことができるようになる。		
	【2023年度以降加付対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】				収集した情報を整理しながら、自分の言いたいことをフランス語で表現できるようになる。		
	【2023年度以降加付対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】				フランス語圏の文化について理解を深めることを通じ、文化の違いや特色などを考慮に入れて会話ができるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本課目の目的は、言語に関する欧州共通基準（CECRL）のレベルA2-B1程度のフランス語運用能力(DELFA2-B1程度)を修得することである。日常生活で用いる基本的なフランス語を、読み・書き・聞き・話す力を身につける。詳細は授業計画を参照のこと。						
授業計画	* 授業は基本的に教科書に沿って以下のように進める。ただし、進度は受講者の理解度に合わせて適宜変更することがある。 * 第3回-第15回の授業では、前の回の内容に関する小課題を授業の最初に行う(全12回)。 第1回 オリエンテーション：授業の進め方、教科書の説明、評価の方法など 第2回 Lecon 13：Parle-moi des fetes de ton pays！（Je sais faire un expos? sur une fete traditionnelle. 自国の伝統的な祭りについて発表することができる。） 第3回 Lecon 14：Qu'as-tu fait pendant les vacances？（Je sais parler d'activites touristiques. 観光地のアクティビティについては話すことができる。） 第4回 Lecon 15：Raconte-moi une histoire！（Je sais ecrire un conte. 短いおとぎ話を書くことができる。） 第5回 Lecon 16：Qu'as-tu fait le week-end dernier？（Je sais parler de ma vie quotidienne au passe et au futur. 日常生活について過去形と未来形で話すことができる。） 第6回 Lecon 17：Unvente une pub！（Je sais creer une publicite. 商品の広告を作ることができる。） 第7回 Lecon 18：Qu'est-ce que cette pub raconte？（CMのストーリーを説明できる。）、中間発表の準備 第8回 中間発表 第9回 Lecon 19：Tu as raison！（Je sais donner et expliquer mon avis en francais. 自分の意見をフランス語で説明し、伝えることができる。） 第10回 Lecon 20：Tu peux me donner des conseils sur ta ville？（住んでいる場所について話すことができる。） 第11回 Lecon 21：Puais, c'est vachement joli！（Je comprends le francais familier parle et ecrit. くだけたフランス語表現を理解することができる。） 第12回 Lecon 22：Serait-il possible de vous voir prochainement？（Je sais m'exprimer poliment et rediger un mail. 丁寧な文でメールを書くことができる。） 第13回 Lecon 23：Discutons ensemble！（Je sais rendre ma conversation interessante. 会話を面白くすることができる。） 第14回 Lecon 24：Quoi de neuf？（Je sais parler de tout et de rien. さまざまな話題で雑談することができる。） 第15回 Lecon 13 - Lecon 24の復習と口頭発表の準備、授業アンケートの実施 第16回 期末試験						
成績評価の方法	平常点25%、小課題 25%、中間発表25%、期末試験25% * 平常点：予習やフランス語でのコミュニケーション等(フランス語の発音と表現の正確さ、聴解力など)						
成績評価の基準	【合格水準にある】：ゆっくり話されれば話の要点が掴め、コミュニケーションにおいて最低限必要な情報を理解できる。尋ねられたことについて定型表現を適切に組み合わせて答えられるなど、基礎的な						

成績評価の基準	り取りができる。 【やや上にある】：基本的な語句や身近な表現であれば、内容を正確に理解できる。語彙に限りがあるが、単純な文での描写や説明を用いることで、事実をつなぎ合わせて相手に伝えることができる。 【かなり上にある】：身近な話題に関する話の大筋を捉え、その要点を理解できる。ある程度の長さの発話が可能であり、筋道(ストーリー)を立てて説明ができる。 【卓越している】：話の要点だけでなく、その詳細まで理解できる。また、未知の情報や表現に直面しても、円滑なやり取りを継続できる。理由や説明を詳しく述べることで、一貫性をもたせた説得力のある話ができる。
事前事後学習の内容	受講生には、1単位当たり「45時間から授業時間(1.5時間×15回=22.5時間)を引いた時間量(22.5時間)」の自主学習時間が課せられている。 ・次回学習する教科書の範囲を読む(予習30分) ・授業で学習した表現や語彙の復習、宿題など(復習60分)
履修上の注意	・この授業はフランス語初級の学修を終えた学生を対象に行う。 ・全ての授業に出席することが基本である。正当な理由なく4回以上欠席した場合は不可とする。また、3回連続で欠席した場合も不可とする。
質問、相談への対応	授業の前後で質問、相談に応じる。メールアドレスは初回の授業で案内する。
教科書	Simon Serverin 他、『Moi, je... コミュニケーションA2』、アルマ出版、2025。(nouvelle ?dition, parue en 2025 ; ISBN: 978-4-905343-44-8)
参考書	授業で案内する。